



アルゼンチン通信



第8号 2025年03月31日発行(毎月月末発行予定)

JICAシニア海外協力隊2024年1次隊:経営管理

玉東町グローバル2024年03月卒業生 鈴木功二

・アルゼンチンは、1月、2月がバケーションシーズンで真夏、最高気温が40℃近くの日が続いていたのですが、3月の中旬にもなると、最高気温が20℃以下の涼し過ぎる日もあって、突然、秋が来た感じです。日本では春と言えば梅や桜、秋と言えば紅葉で、季節の移り変わりを目で見て楽しむことができますが、こちらでは急に気温が下がったり雨の日が多くなったりしますが、自然の変化を楽しむ風物詩は今のところ、見つかってはいません。あえて言えば、3月24日(月)が祝日で、「真実と正義を記憶する日」。1976年から1983年までの軍事政権による犠牲者を追悼する日で、冷たい雨の中、市内ではデモ行進が行われ、秋を感じた人がいたのかもしれませんが。

・私事で恐縮ですが、私の今の最大の悩み事はスペイン語です。自分の目標レベルからは、ほど遠い状態にあり、思うようにスペイン語が上達していません。これは、海外協力隊に応募した1年以上前から自覚していることで、自分なりに努力してきたつもりですが、未だに同僚の日常会話が理解できていません。理由はいくつかあるのですが、最大の理由は、自分が知らない単語がある為で、そのおよそ半分は、日本から持ち込んだ辞書(約1000ページ)には載っていない単語です。キーとなる単語を知らなければ理解できないのは当然で、語彙を増やす以外に方法はないのですが、辞書に載っていない単語や、辞書に載っていても、違う意味で使われる場合がある等、言葉は生き物とはいえ、これほど多いとは思っていませんでした。辞書に載っている単語を私が知らないのは当然と開き直っても何の解決にもならないので、辞書に載っていない単語や意味を、一つ一つメモして覚えていく以外に方法はありません。

とはいえ、何かを変えないと前には進まないなので、3月は、①スペイン語学校に通う、②図書館に通う、の二つを試みてみました。

①スペイン語学校に通う。

・同僚の紹介で、サンティアゴ・デ・エステロ国立大学(UNSE)の中にある、外国人向けのスペイン語教室に、週一回ですが、通うことにしました。国立大学なので、日本で言えば、熊本大学の中の日本語教室のようなものかもしれませんが、私が驚いたことは、

1.授業が始まっているにも拘わらず、授業料やカリキュラムの説明が全くない。

(その後、授業料については、大学から連絡がありました。)

2.申込の手続きがなく、私の住所や電話番号等、生徒としての登録をしていない。

3.受講票は発行されず、身分証明書なしに、自由に大学の教室に入出入りできる。

・タイのバンコクやドイツのフランクフルトで、私は語学学校に通った経験があるのですが、このような経験は初めてです。

・国立大学は学生にとって無料なので、学生から授業料を徴収することに慣れていない為か、各教室を2重ロックにしているので人の出入りをチェックする必要がないのか、アルゼンチンは広大で、細かいことを気にしないので、管理する必要がないのか、私には理解できていません。私が玉東町で「一カ月限定の英語教室」をした時でさえ、カリキュラム(授業内容)は広告上で説明、受講票がわりに名札を準備しました。

私が通っていた京都の光明寺、初夏の青もみじ。6月頃。



季節の移り変わり

私が通っていた京都の光明寺、晩秋の紅葉。11月下旬。



かつての軍事政権による犠牲者を追悼する集会。3月24日。



サンティアゴ・デ・エステロ国立大学の通用口。守衛はおらず、出入り自由。



国立大学内の通路。1973年設立。
窓に鉄格子があるのは驚き。



ドアにも鉄格子があり、教室が使われていない時は施錠される。



スペイン語教室の先生とクラスメートのウガンダ人修道女。



②図書館に通う。

・スペイン語学習の教材として、小学校で使われている教科書を入手しようと同僚に相談したところ、同僚からアルゼンチンの歴史の本を借りることができました。しかし、それは中高生用の本で、ちょっと今の自分にはレベルが高く、読み進めるのに時間が掛かる。そこで、毎週土曜日、近所の公立図書館に通って、小学生用の本を読む(書き写しする)ことにしました。

・図書館の名前は、7月9日通りにあるので「7月9日図書館」です。1915年創立の歴史ある図書館です。他の国の図書館との最大の違いは、貸出はしておらず、図書館内で閲覧するだけです。同僚に理由を訊くと、借りっぱなしで返却しない人が多い為のようですが、真偽は判りません。ここで私が読む小学生用の教科書は、自然科学、社会科学や数学等が1冊になった分厚い本で、今の私のスペイン語レベルに合っています。毎週土曜日は、子供の為のお話会があって、知らない子どもと話ができるのも楽しみの一つです。

「7月9日図書館」の正面



「7月9日図書館」の入口、
「読書に来て！」の手書きの看板が魅力的



「7月9日図書館」の内部、雰囲気歴史があり、落ち着く。



子供のお話会



(スペイン語版を同時配信)

鈴木功二